

哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 七 册

第 三 百 五 十 二 號

昭 和 二 十 一 年 十 月 十 日 發 行

「ゼルヴン」教について……………文學士 足利惇氏

アリストテレスに於ける
實踐の構造（永前）……………文學士 安藤孝行

——靈魂諸部分の聯關——

佛敎に於ける知識の確
實性の論究……………文學士 武 邑 尙

寸心先生日記抄

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 二 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官、及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年三十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	澤瀉久敬
文學士	重澤俊郎
文學博士	島芳夫
文學士	國原太郎
文學博士	西谷啓治
文學博士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學士	松村克己
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學士	井島勉

京都哲學會公開講演會

來る十月二十六日(土曜)午後一時半より京都帝國大學法學部第四教室に於いて左の如く公開講演會を開催致します

經學の本質

京都帝國大學助教授 文學士 重澤俊郎君

科學と倫理

大阪高等學校教授 文學士 野田又夫君

京都帝國大學文學部内

京都哲學會

敵は備中にあらず本能寺にあり

八月三日 午前七時講座をきく。晩に獨參無事を許さる。されども余甚悦ばず
杉森留學す。人は自ら勉ざるの外なし、他人は恃むに足らず

公案 鐘の音を止めよ

八月四日 此日ぶら／＼してくらせり。晩に石川君來る。石川は前田侯爵に尾して金澤に歸るといふ

八月五日 小包送り來る。馬鹿なる事をする奴なり
主心を失する勿れ、萬里一條鐵

晩に參禪、前の公案をとらる

八月六日 午前講坐あり、それより得田方に歸る。夜
稻葉君を訪ふ

八月七日 午前得田と孤蓬庵にゆく、三竹君あり

晩に三竹君と共に孤蓬庵を辭し、晩に得田に歸る

八月八日 午前京都博物館を見る。午後動物園を見る

夜十二時出立

八月九日 午前十時頃歸宅

八月十日、十一日 [略]

[中絶]

日記抄

九月二十一日 出校。午後教官會議あり。夜田部君よ

りかりたる近藤常次郎といふ人の「仰臥三年」といふ書をかりてよんだ。

〔以下なし〕

前 號 目 次

知性の法則(デッサン)……文學博士 矢田部達郎	精神疲勞の一考察……文學士 岡原太郎	固定現象に関する比較心理學的考察……文學士 八木 晃	心理學における二三の科學論的問題について……文學士 末永俊郎
-------------------------	--------------------	----------------------------	--------------------------------

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房内京都哲學會宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會(等編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券十錢御送付下され度候

昭和二十一年十月五日印刷納本
昭和二十一年十月十日發行

編輯人

京都哲學會
京都帝國大學文學部内

右代表者

澤、瀉、久、敬

發行兼印刷人

八坂淺太郎
東京都神田區駿河臺四ノ四

印刷所(京都七丸)弘文堂印刷部

京都市田中西浦町四〇

配給元

日本出版配給株式會社
東京都神田區淡路町二ノ九

發行所

弘文堂書房

東京都神田區駿河臺四ノ四

價 定		冊 數		定 價		郵 税	
一冊	冊	金三圓半錢	冊	金十五錢			
六冊(前金)	冊	金二十一圓	冊	金九十錢			
三冊(前金)	冊	金四十二圓	冊	金一圓八錢			

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)